

# 都城広域定住自立圏構想の取組み

～集約とネットワークで築く県境を越えた南九州の広域都市圏～

平成22年3月23日

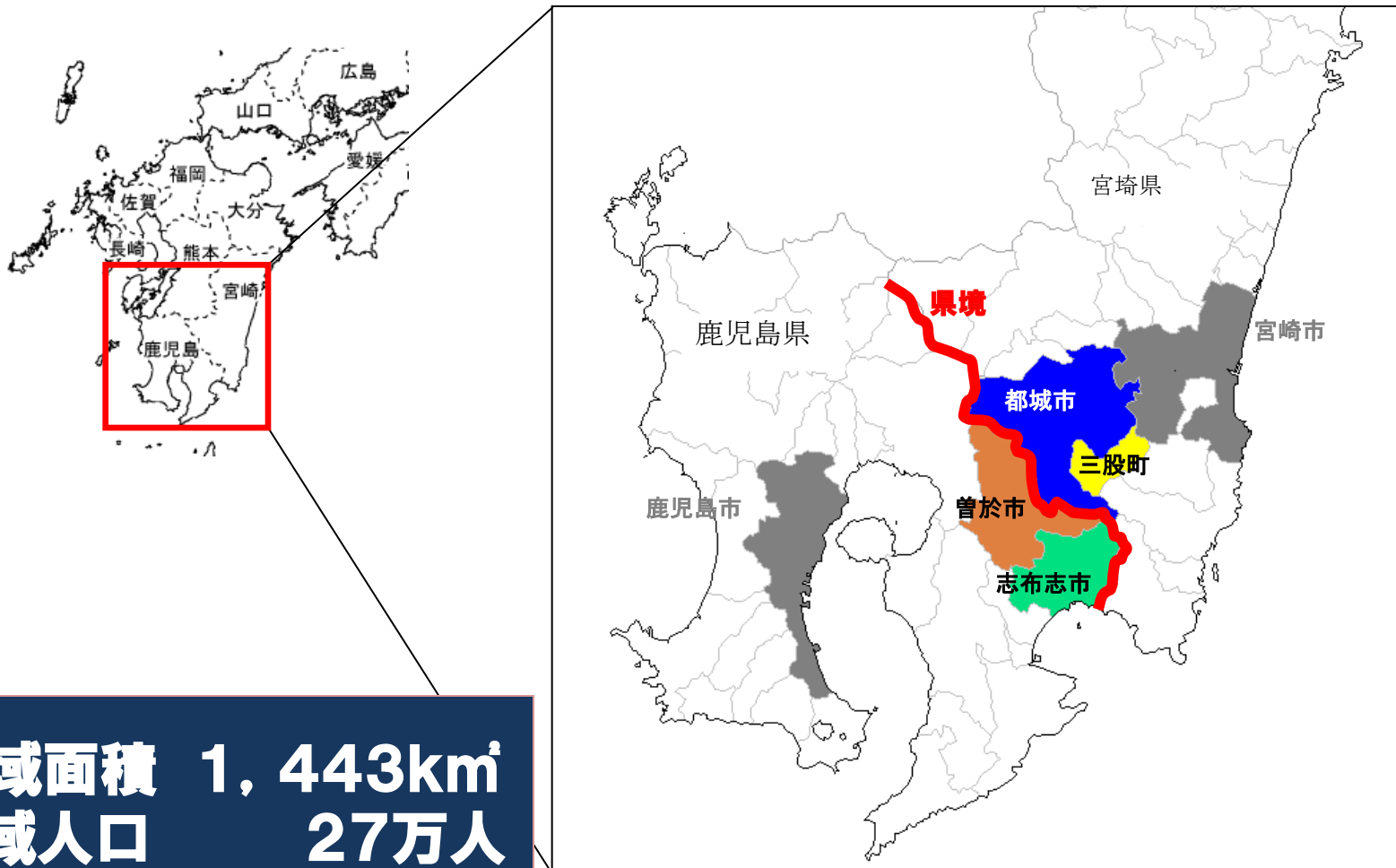
宮崎県都城市副市長 池田 宜永

# 目次

- I. 都城広域定住自立圏域の概要
- II. 定住自立圏形成協定の締結
- III. 定住自立圏共生ビジョンの概要
- IV. 都城広域定住自立圏域の将来像

# I . 都城広域定住自立圏域の概要

# 都城広域定住自立圏の位置



## 都城市

人口:約17万人 面積:約653Km<sup>2</sup>

宮崎県南西部の広大な都城盆地に位置し、鉄道2路線、高速道路、国道及び地方道が整備されているほか、40Km圏内には志布志港、油津港に加え宮崎、鹿児島の両空港があり、交通の要衝として栄えてきました。



## 三股町

人口:約 2万5千人 面積:約110Km<sup>2</sup>

都城市に隣接し、古くから都城市との連携による産業振興等、広域連携によるまちづくりを推進してきました。







## 曾於市

人口:約 4万1千人 面積:約390Km<sup>2</sup>

都城市に隣接し、鹿児島県にありながら曾於市役所から都城市役所までは、車で15分の距離にあり、都城市とは経済的にも強いつながりを持っています。



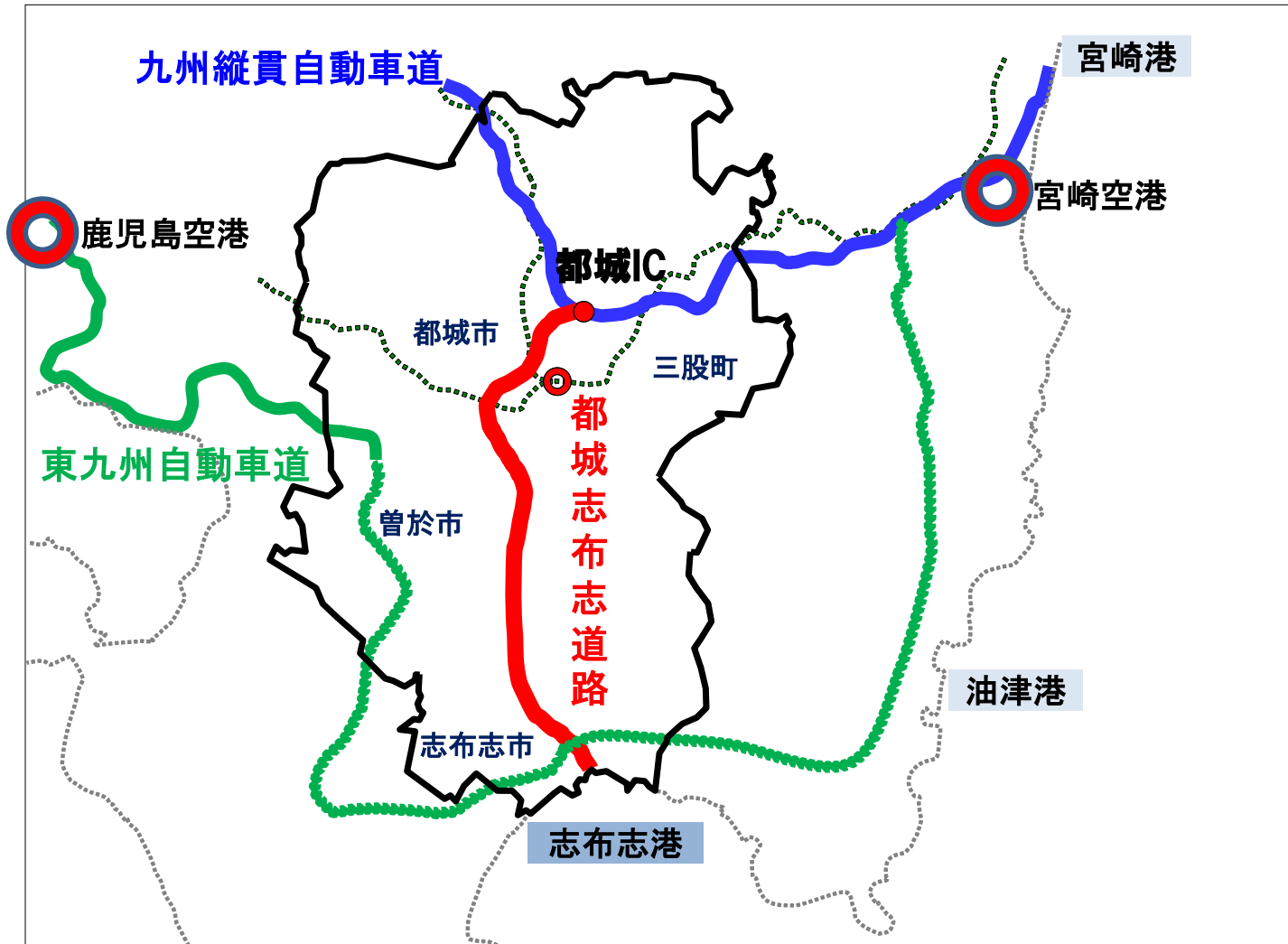
## 志布志市

人口:約 3万5千人 面積:約290Km<sup>2</sup>

国内有数の畜産地域である南九州地域の海の玄関として機能し、中核国際港湾・重要港湾である志布志港を核に陸海交通の要衝として発展しています。

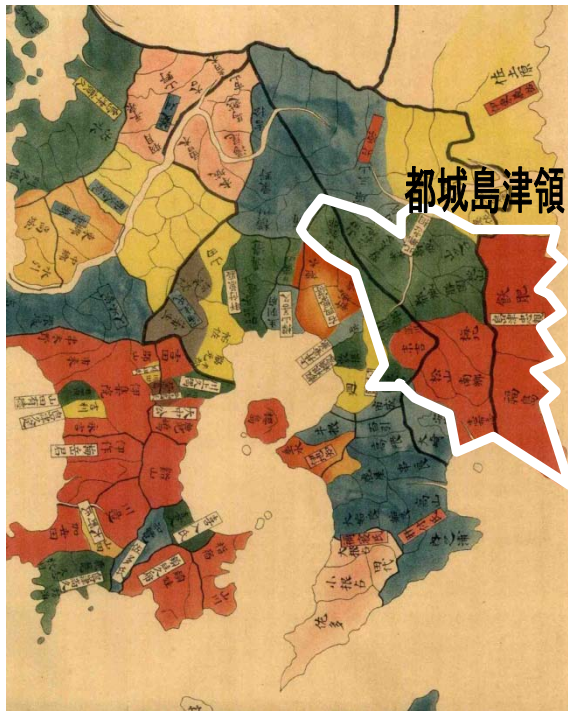


# 都城圏域の地勢

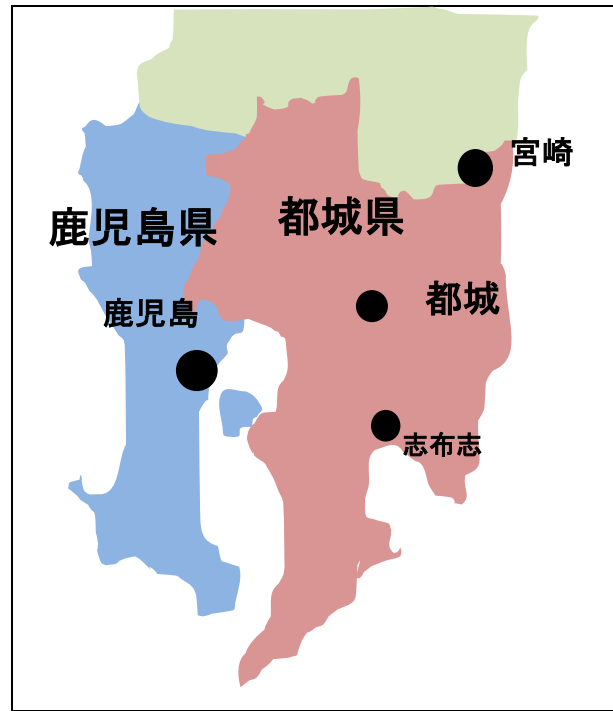


# 都城圏域の歴史

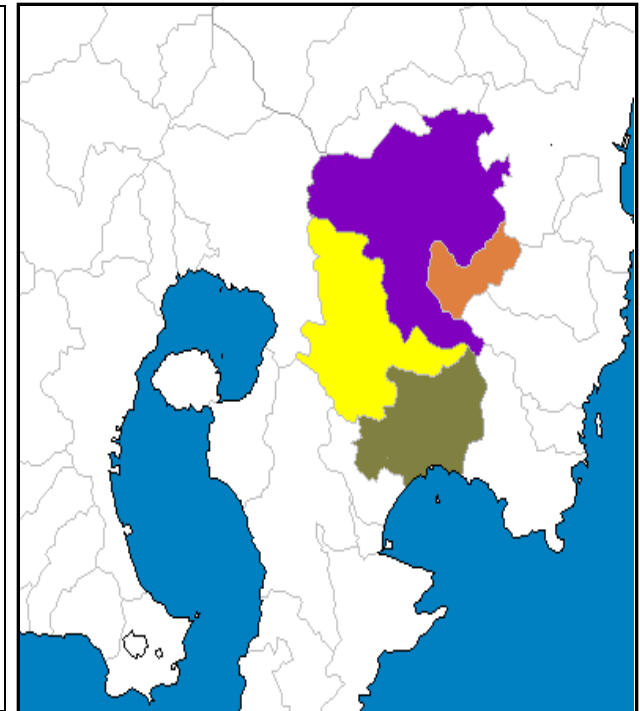
都城島津の時代



都城県の時代



都城広域定住自立圏



# 都城圏域の連携のあゆみ

## ● 歴史的繋がり

- ・都城島津の歴史
- ・都城県の設置

## ● 広域行政の推進

- ・都城北諸県広域市  
町村圏事務組合
- ・都城地方拠点都市  
地域基本計画
- ・南九州総合開発協議会
- ・大隅総合開発期成会

## ● 合併の推進

- ・都城市
- ・曾於市
- ・志布志市

## ● 新たな広域連携等

- ・環霧島会議
- ・サブシティ構想
- ・霧島ジオパーク推進  
連絡協議会

## ● 都城広域 定住自立圏構想

都城市・三股町・曾於市・  
志布志市による新たな連携  
へ

## Ⅱ．定住自立圏形成協定の締結



## 協議経過 ①

- 平成20年10月 先行実施団体に選定  
(広域救急医療の充実及び都城志布志道路の整備推進)
- 平成21年4月 中心市宣言の公表
- 平成21年7月 協議会の設置  
(協定締結までに2回開催)
- 平成21年9月 定住自立圏形成協定締結議決
- 平成21年10月 合同締結式  
(都城市・三股町・曾於市・志布志市の3市1町)

# 平成22年10月6日 合同締結式の様子

都城市・三股町・曾於市・志布志市  
都城広域定住自立圏形成協定合同締結式



# 協定書に記載した連携項目

- 生活機能の強化

- ア 広域救急医療体制の整備・充実
- イ 都城志布志道路を活用した産業振興

- 結びつきやネットワークの強化

- ア 道路等の交通インフラの整備
- イ 圏域内外の住民との交流と観光の推進
- ウ 定住促進

- 圏域マネジメント能力の強化

- ア 行政人材の育成
- イ 地域活動人材の育成及び活動支援体制の整備
- ウ 民間人材の育成及び推進体制の整備

## Ⅲ. 定住自立圏共生ビジョンの概要



## 協議経過 ②

- 平成21年10月 圏域共生ビジョン懇談会の設置
- 平成22年3月 共生ビジョン策定・公表  
(策定までに協議会5回、共生ビジョン懇談会3回)  
(3月3日 HPに掲載)

## 将来像

# 集約とネットワークで築く 県境を越えた南九州の広域都市圏

歴史的・経済的に深いつながりを持つ都城広域定住自立圏は、互いの地域資源を活用した広域的かつ広範な連携により、高次の都市機能と環境や地域コミュニティが融合した、少子高齢・人口減少社会に対応可能な『集約とネットワークで築く県境を越えた南九州の広域都市圏』の実現を目指します。

# 生活機能の強化に係る政策分野(医療)

## 圏域における課題

① 医師不足に伴う救急医療・一般医療への影響

② 救急医療施設・機能の偏在

③ 災害医療体制充実の必要性

④ 搬送体制の充実の必要性



## 解決策の4つの方向性

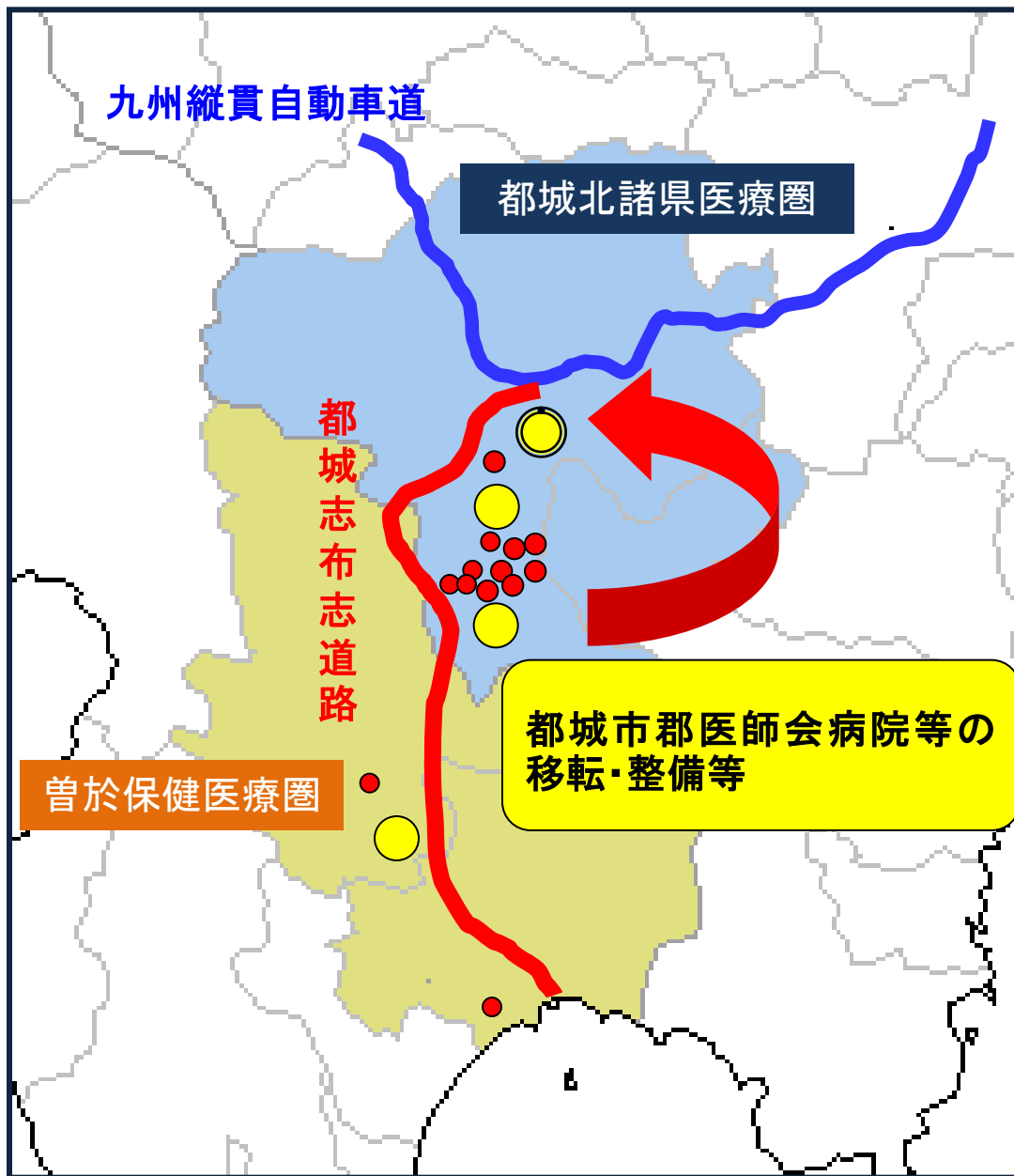
### (ア) 医療資源の高度化

- 1) 救急医療拠点施設等の整備又は充実
- 2) 夜間救急診療体制等の充実
- 3) 圏域医療を担う医療従事者の確保
- 4) 圏域医療の情報化の推進

### (イ) 医療連携の充実

### (ウ) 災害時の対応

### (エ) 圏域における搬送体制の構築



## 圏域の医療の課題

医師不足に伴う救急医療・一般医療への影響

救急医療施設の偏在

救急医療機能の偏在



救急医療拠点施設の整備充実  
医療連携の推進

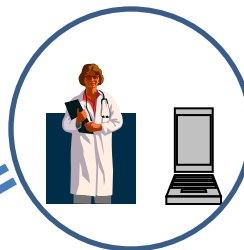


# 医療資源の集約とネットワーク化の推進



電子化の推進

拠点病院



連携拠点病院

クリニック

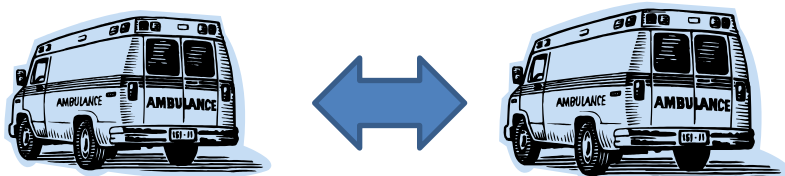


クリニック



医療連携テーブルの常設

圏域の救急医療拠点施設の整備・充実



県境を越えた救急相互応援協定の締結

救急医療拠点施設の医療情報の電子化とネットワークの推進

# 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 (含む産業振興)

## 圏域における課題

① 少子・高齢化の進展と人口減少

② 生産年齢人口の減少による  
生産性の低下

③ 地域経済の停滞

④ 生活ニーズに対するサービスの  
停滞(特に交通)

⑤ 人材のさらなる流出



## 解決策の4つの方向性

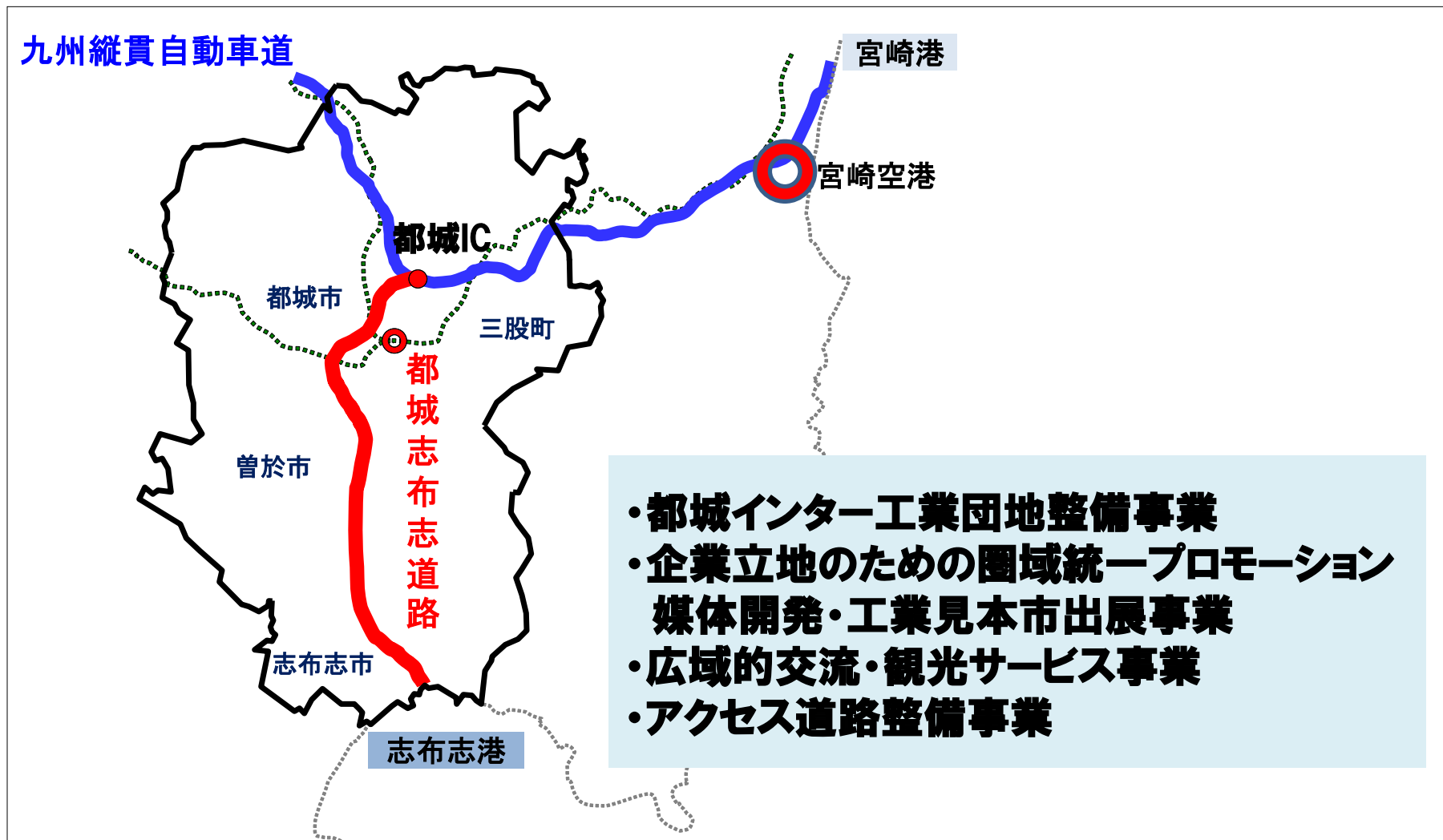
① 雇用創出ゾーン整備と企業立地による  
産業振興

② 都城志布志道路の開通促進とネット  
ワークの構築による交通インフラの整備

③ 圏域内外の住民との交流と観光の推進

④ 雇用創出による定住促進

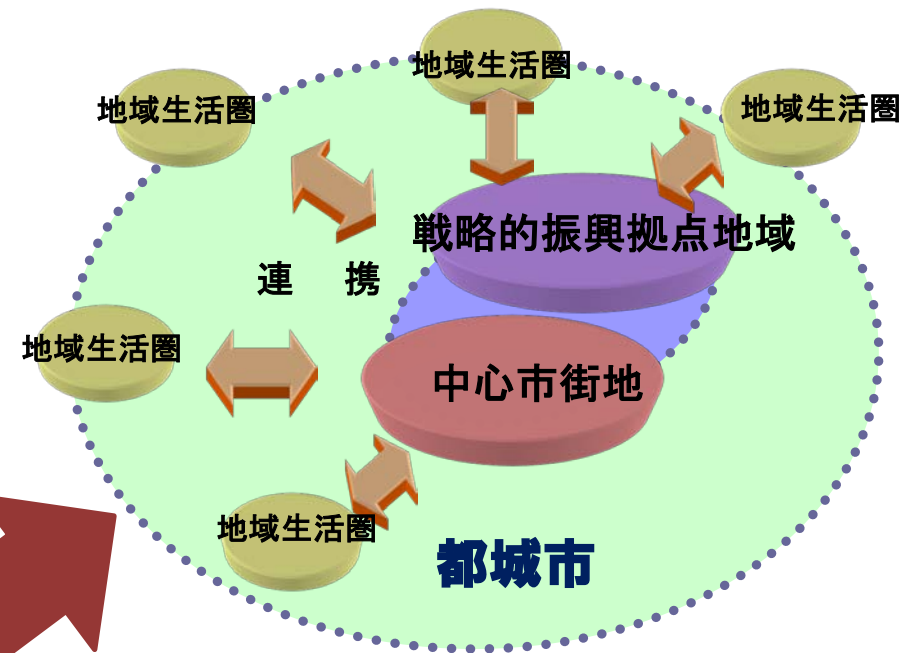
# 都城志布志道路を活用した取組の推進



# サブシティ構想から定住自立圏へ

「サブシティ構想」 戦略的振興拠点地域

- ① 健康・医療ゾーン
- ② 雇用創出ゾーン



都城志布志道路

国の重要港湾「志布志港」



30分で直結

# 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

## 圏域における課題

①行政人材の育成

②地域活動人材の育成及び  
活動支援体制の整備

③民間人材の育成及び  
推進体制の整備



## 解決策の3つの方向性

①圏域行政マネジメント

【目指す方向性】

圏域における行政機能の相互補完による事務事業等の効率化・多様化・高度化

②圏域協働マネジメント

【目指す方向性】

新たな公共分野で活動しているNPOや地域情報を発信し地域の拠点となっている団体等の活性化

③圏域民活マネジメント

【目指す方向性】

民間活力を活用した地域の価値向上

# 行政マネジメント強化に加え、 民間のマネジメント強化の取組も実施

官の領域

官民の横断領域

民の領域

圏域行政マネジメント

(行政機能の相互補完による  
効率化・高度化等)

圏域協働マネジメント

(圏域における新たな公共活動の活性化)

圏域民活マネジメント

(民活による地域の価値向上)

- ・特定課題解決型研修
- ・圏域内の人事交流

- ・地域活動団体ネットワーク
- ・中間支援組織体制整備事業

- ・多様な民間主体の連携による観光推進事業



## IV. 都城広域定住自立圏域の将来像

集約とネットワークで築く  
県境を越えた南九州の  
広域都市圏



最後に少しでもPR！

# 都城島津邸

— 島津発祥の地都城から —  
今に伝わる殿様のくらし 男爵のくらし



**平成22年3月27日開館**  
— 都城広域定住圏においても貴重な  
歴史・観光ネットワーク資源に—

島津家発祥の地都城で500年以上の長きにわたりこの都城の地を治めた  
都城島津家に伝わる至宝の数々と  
昭和天皇御宿泊の記憶をとどめる都城島津邸で  
都城の歴史を体感ください。

御清聴ありがとうございました。